

# 宮城県商工会 地区中小企業景況調査報告書

平成30年7月～9月期

## 目 次

1. 県下産業全体の景況 .....	2
(1) 主要景況項目のあらまし .....	2
(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし .....	3
(3) 今後の見通しについて .....	4
2. 県下産業別の景況 .....	5
(1) 製造業の動向 .....	5
(2) 建設業の動向 .....	8
(3) 小売業の動向 .....	11
(4) サービス業の動向 .....	14

平成30年10月

宮城県商工会連合会

# 中小企業景況調査報告書

平成 30 年 7～9 月期

## [調査要領]

### 1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内 10 商工会地区  
(調査対象商工会名) 名取市商工会、大河原町商工会、みやぎ仙台商工会、くろかわ商工会、加美商工会、遠田商工会、若柳金成商工会、みやぎ北上商工会、石巻かほく商工会、本吉唐桑商工会
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 148 企業

### 2. 調査対象期間

平成 30 年 7 月～9 月期を対象として、調査時点は平成 30 年 9 月 1 日とした。

### 3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

### 4. 回答企業内訳

業 種	企 業 数
製 造 業	3 2
建 設 業	2 6
小 売 業	4 4
サービス業	4 6
合 計	1 4 8

### 5. そ の 他

本報告書中の D I とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合と減少(低下・悪化)企業割合の差を示すものである。

# 1. 県下産業全体の景況

## (1) 主要景況項目のあらまし

### ① 業況D I の状況と来期見通し

県下商工会地区における今期(平成 30 年 7 月～9 月期)の調査において、産業全体(全産業)の業況D I(前年同期との比較D I、以下同じ)は、前期より 2.1 ポイントの改善で△29.7(前期△31.8)となった。産業別にみると、製造業が△18.7(前期△25.0)と 6.3 ポイント改善、建設業で△26.9(前期△15.4)と△11.5 ポイント悪化、小売業で△47.8(前期△56.8)と 9.0 ポイント改善、サービス業では△21.8(前期△21.7)と△0.1 ポイントの若干の悪化であった。

来期見通しについては、産業全体(全産業)としては改善の見通しであった。産業別にみると、製造業、建設業については悪化の見通し、小売業については改善の見通し、サービス業については若干の悪化見通しであった。

表一1 業況D I の状況と来期見通し (前年同期比・D I)

業種	前期	今期	来期見通し
全産業	△ 31.8	△ 29.7	△ 28.1
製造業	△ 25.0	△ 18.7	△ 21.9
建設業	△ 15.4	△ 26.9	△ 30.8
小売業	△ 56.8	△ 47.8	△ 37.2
サービス業	△ 21.7	△ 21.8	△ 22.3

### ② 設備投資の状況と来期計画

新規投資の実施比率は、製造業では 15.6%で前期比△6.3 ポイント減少、建設業では 11.5%で前期比△3.9 ポイント減少、小売業でも 2.3%と前期比△4.5 ポイント減少、サービス業では 15.6%と前期比 2.6 ポイント増加した。

来期に設備投資を計画している企業は、今期に比べ製造業では減少、建設業、小売業で増加、サービス業では若干の減少となっている。

表一2 設備投資の状況と来期計画 (企業割合・%)

業種	前期	今期	来期計画
製造業	21.9	15.6	12.5
建設業	15.4	11.5	15.4
小売業	6.8	2.3	6.8
サービス業	13.0	15.6	15.2

## (2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

### ① 売上額（完成工事額）

2018年（H30年）9月調査の日銀短観で、「中小企業の業況判断指数（D I）は前期（2018年6月調査）と比較して、製造業が前期と同じプラス14、非製造業は2ポイント上昇のプラス10だった。先行きは製造業、非製造業共に今期に比べ悪化を見込んでいる」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）D Iは、全業種でマイナス値であった。前期との比較では製造業・小売業で改善、建設業・サービス業で悪化となった。

今期の宮城の全国・東北との売上額D I比較では、製造業では全国以下、東北以上、建設業・小売業・サービス業では全国・東北以下であった。

表-3 売上額（完成工事額）の状況（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 5.8	△ 10.8	△ 19.0	△ 23.1	△ 25.0	△ 21.9
建 設 業	△ 9.2	△ 9.7	△ 25.8	△ 26.4	△ 23.1	△ 34.7
小 売 業	△ 31.0	△ 30.9	△ 39.6	△ 34.4	△ 54.6	△ 52.3
サービス業	△ 18.3	△ 20.5	△ 23.0	△ 20.4	△ 17.8	△ 26.1

### ② 採 算

宮城の今期の採算D Iは、全業種でマイナス値であった。前期との比較では、製造業・小売業で改善、建設業・サービス業で悪化となった。

今期の宮城の全国・東北との採算D I比較では、製造業では全国以下、東北以上、建設業・小売業・サービス業では全国・東北以下であった。

表-4 採算の状況（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 12.0	△ 13.3	△ 23.5	△ 26.1	△ 21.9	△ 18.7
建 設 業	△ 11.2	△ 14.3	△ 21.0	△ 19.6	△ 23.1	△ 30.8
小 売 業	△ 30.8	△ 31.7	△ 39.9	△ 36.9	△ 61.4	△ 45.5
サービス業	△ 22.1	△ 22.6	△ 24.6	△ 26.1	△ 22.7	△ 28.9

### (3) 今後の見通しについて

#### ① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（H30年10月～12月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業で9.4ポイントの改善、建設業で横ばい、小売業で10.4ポイントの改善、サービス業でも2.2ポイントの改善見通しとなった。

採算来期見通しD Iでは、今期状況D Iとの比較で、製造業で△6.3ポイントの悪化、建設業で△7.7ポイントの悪化、小売業で3.7ポイントの改善、サービス業で△4.5ポイントの悪化見通しとなった。

#### ② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期と来期見通しとの比較において、製造業では、売上は全国・宮城で改善、採算は全国で改善、宮城で悪化の見通しとなった。建設業では、売上は全国で若干の悪化、宮城で横ばい、採算は全国で改善、宮城で悪化の見通しとなった。小売業では、売上は全国で悪化、宮城で改善の見通し、採算では全国・宮城で改善の見通しとなった。サービス業では、売上では全国・宮城で改善の見通し、採算では全国で改善、宮城で悪化の見通しとなった。

表－5 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製 造 業	△ 10.8	△ 7.7	△ 21.9	△ 12.5
建 設 業	△ 9.7	△ 10.4	△ 34.7	△ 34.7
小 売 業	△ 30.9	△ 32.1	△ 52.3	△ 41.9
サービス業	△ 20.5	△ 16.2	△ 26.1	△ 23.9

表－6 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製 造 業	△ 13.3	△ 10.2	△ 18.7	△ 25.0
建 設 業	△ 14.3	△ 12.5	△ 30.8	△ 38.5
小 売 業	△ 31.7	△ 28.0	△ 45.5	△ 41.8
サービス業	△ 22.6	△ 19.7	△ 28.9	△ 33.4

## 2. 県下産業別の景況

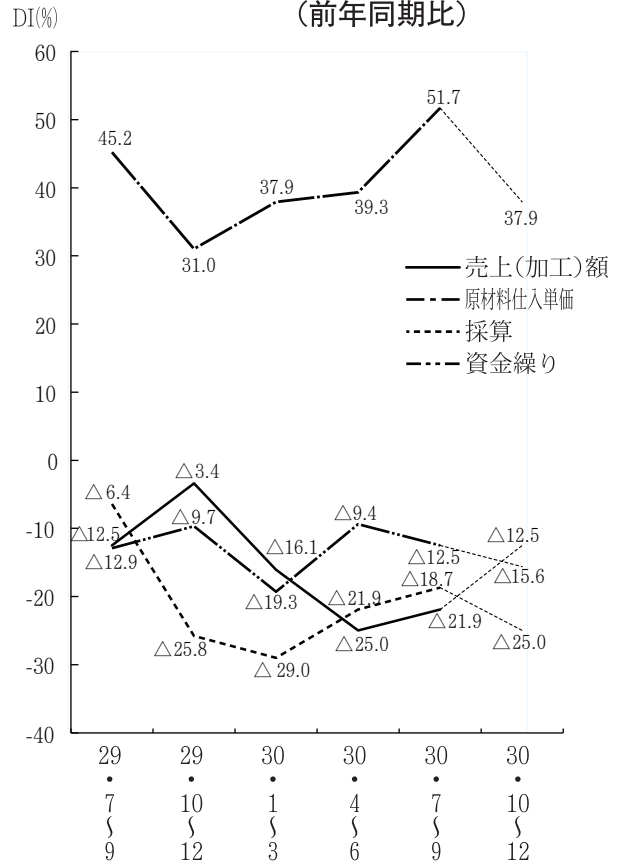
### (1) 製造業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

前年同期比D Iは、売上（加工）額D Iが今期 $\Delta 21.9$ （前期 $\Delta 25.0$ ）となり3.1ポイント前期より改善、採算D Iは今期 $\Delta 18.7$ （前期 $\Delta 21.9$ ）で3.2ポイントの改善、資金繰りD Iは今期 $\Delta 12.5$ （前期 $\Delta 9.4$ ）で $\Delta 3.1$ ポイントの悪化となった。

原材料仕入単価は今期51.7（前期39.3）と12.4ポイントの上昇となった。

図1-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



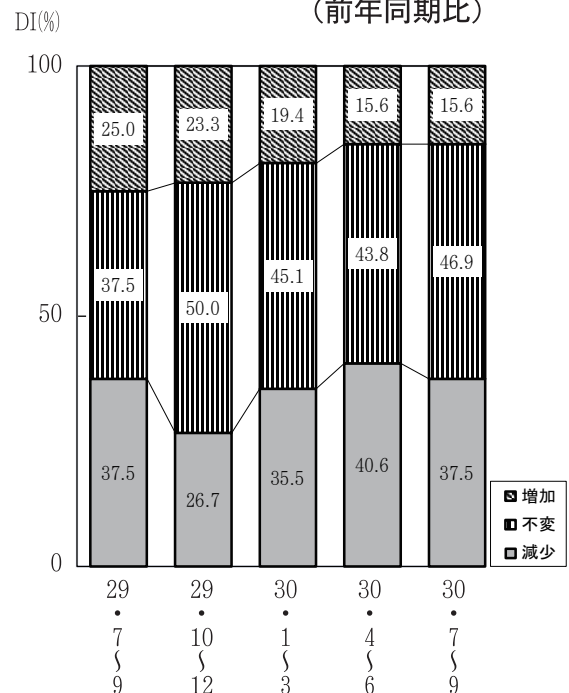
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上(加工)額

「増加」と回答した企業は、全体の15.6%（前期15.6%）と横ばい、「減少」と回答した企業は37.5%（前期40.6%）と $\Delta 3.1$ ポイント減少した。

その結果、売上（加工）額D Iは $\Delta 21.9$ （前期 $\Delta 25.0$ ）となり前期比3.1ポイント改善した。

図1-2 売上(加工)額の状況  
(前年同期比)

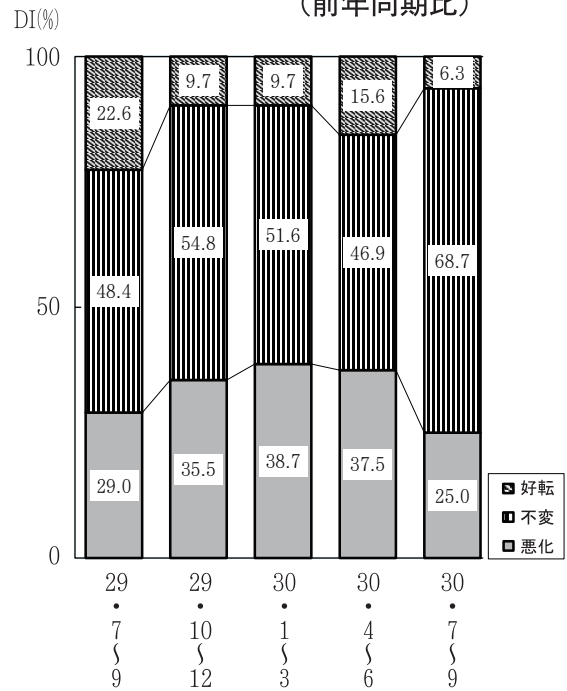


**(b) 採 算**

「好転」と回答した企業は全体の 6.3% (前期 15.6%) で△9.3 ポイント減少、「悪化」と回答した企業も 25.0% (前期 37.5%) で△12.5 ポイント減少した。

その結果、採算 D I は△18.7 (前期△21.9) で前期比 3.2 ポイント改善した。

**図 1 - 3 採算の状況  
(前年同期比)**



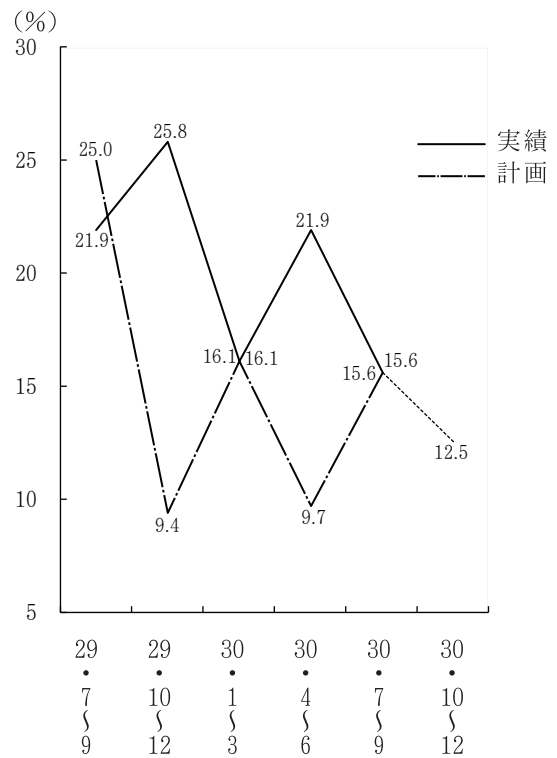
**(c) 設 備 投 資**

今期の新規投資実施（実績）企業割合は全体の 15.6% (前期 21.9%) で、前期と比べ△6.3 ポイント減少した。

その設備内容は、工場建物、生産設備、車両・運搬具、付帯施設であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 12.5%で、その設備内容は 土地、工場建物、生産設備、車両・運搬具、OA機器となっている。

**図 1 - 4 設備投資の状況**

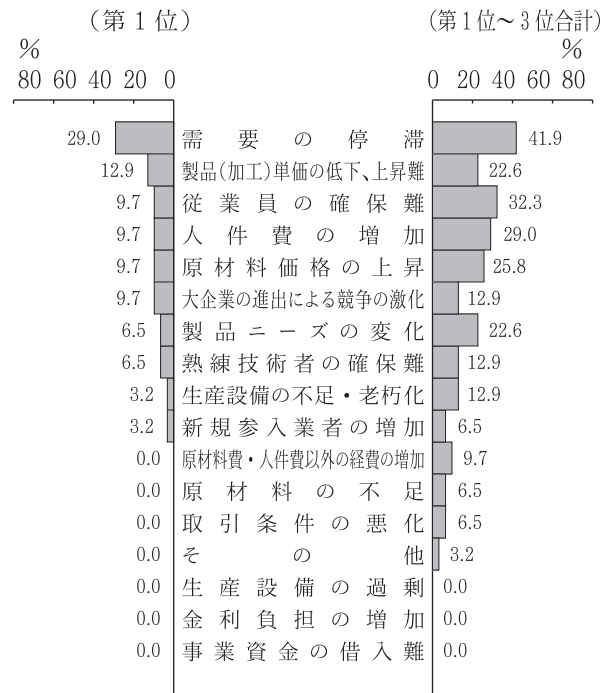


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「需要の停滞」で29.0%、次いで「製品（加工）単価の低下、上昇難」が12.9%、「従業員の確保難」、「人件費の増加」、「原材料価格の上昇」、「大企業の進出による競争の激化」が同率9.7%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも「需要の停滞」が41.9%（複数回答計、以下同じ）で最上位、次いで「従業員の確保難」が32.3%、「人件費の増加」が29.0%で続いた。

図1-5 経営上の問題点



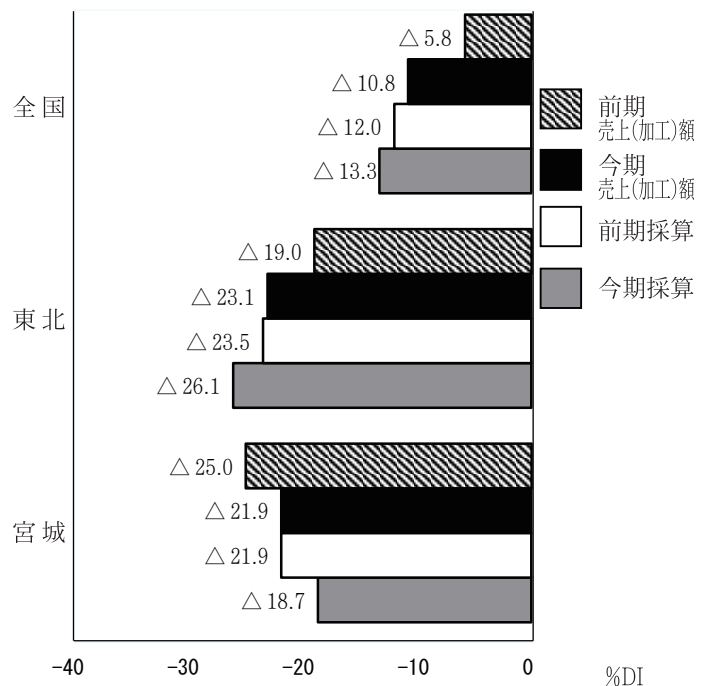
### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では売上（加工）額DIでは全国・東北で悪化、宮城で改善した。その悪化度は全国、東北の順であった。

採算DIの比較でも全国・東北で悪化、宮城で改善した。その悪化度は東北、全国の順であった。

本県回答事業者からは「サービス低下にならぬよう得意先の訪問に注力」（金属加工業）や、「仕事量が急増する時に(余計な)経費が増加するのが課題」（電子機器部品業）などのコメントがあった。

図1-6 全国東北宮城売上（加工）額・採算比較（前年同期比）





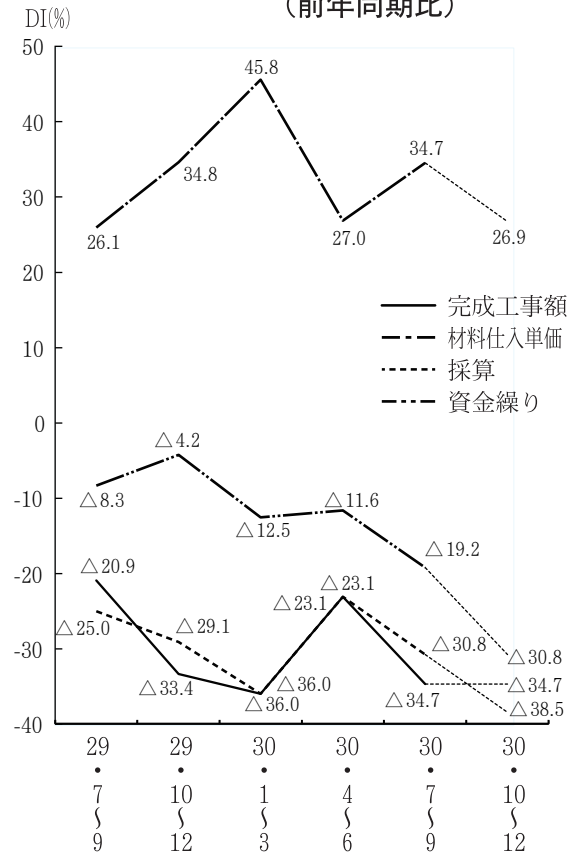
## (2) 建設業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

完成工事（請負工事）額D Iは今期△34.7（前期△23.1）と前期より△11.6ポイント悪化、採算D Iは今期△30.8（前期△23.1）で△7.7ポイント悪化、資金繰りD Iも今期△19.2（前期△11.6）と△7.6ポイント悪化した。

材料仕入単価D Iは今期 34.7（前期 27.0）と前期より 7.7ポイント上昇した。

図 2 - 1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



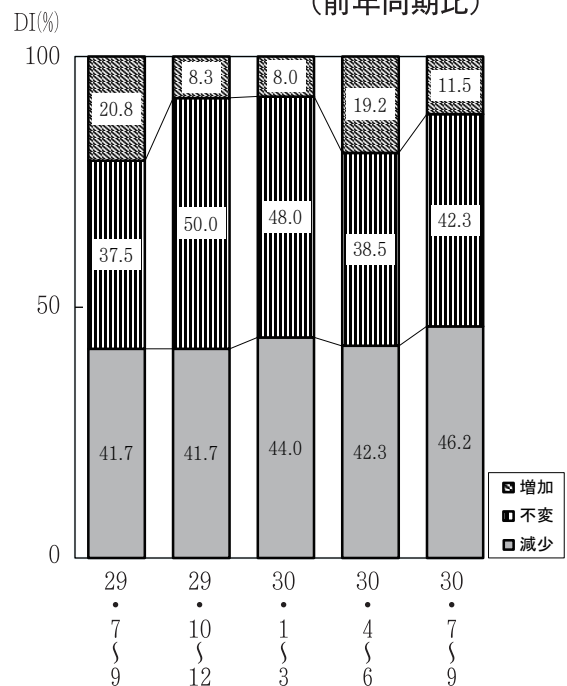
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 完成工事（請負工事）額

「増加」と回答した企業は全体の 11.5%（前期 19.2%）で△7.7ポイント減少、「減少」と回答した企業は 46.2%（前期 42.3%）で 3.9ポイント増加した。

その結果、完成工事（請負工事）額D Iは△34.7（前期△23.1）と△11.6ポイント前期より悪化した。

図 2 - 2 完成工事額の状況  
(前年同期比)

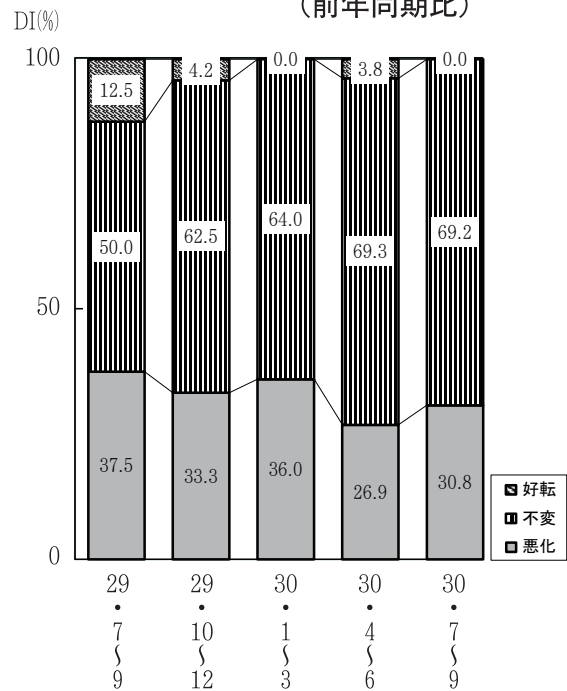


### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 0.0% (前期 3.8%) で△3.8 ポイント減少、「悪化」と回答した企業は全体の 30.8% (前期 26.9%) で 3.9 ポイント増加した。

その結果、採算 D I は△30.8 (前期△23.1) と△7.7 ポイント悪化した。

図 2 - 3 採算の状況  
(前年同期比)



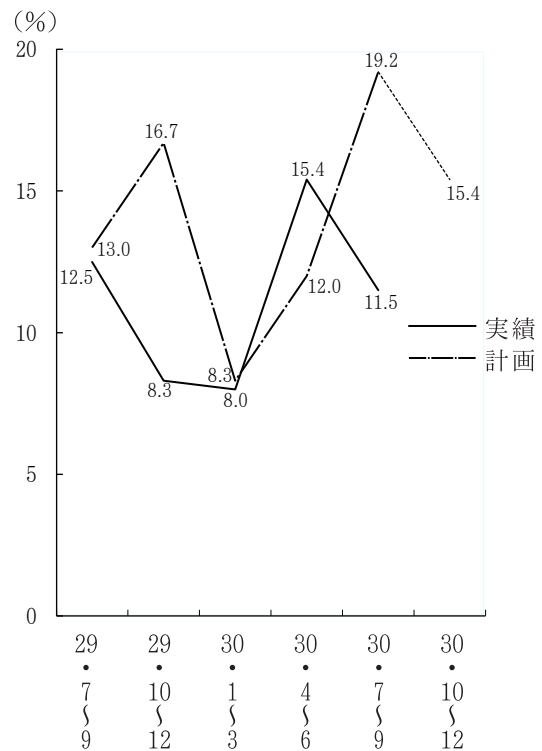
### (c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施 (実績) 企業割合は全体の 11.5% (前期 15.4%) で、前期より△3.9 ポイント減少した。

その設備内容は、建設機械、車両・運搬具、その他であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 15.4% で、その設備内容は、土地、建設機械、車両・運搬具、付帯施設、福利厚生施設となっている。

図 2 - 4 設備投資の状況

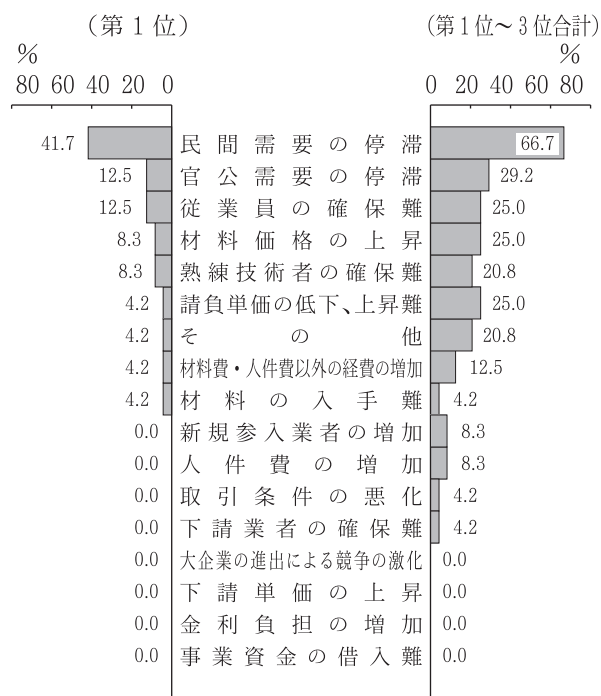


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「民間需要の停滞」が41.7%で、次いで「官公需要の停滞」と「従業員の確保難」が同率12.5%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも、「民間需要の停滞」が66.7%（複数回答計、以下同じ）で最上位、次いで「官公需要の停滞」が29.2%、「従業員の確保難」、「材料価格の上昇」、「請負単価の低下、上昇難」が同率25.0%で続いた。

図2-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

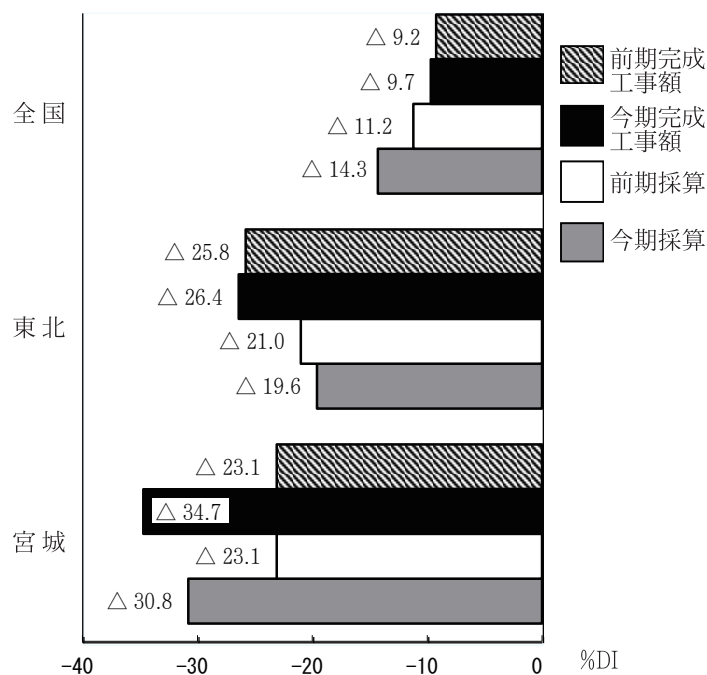
今期と前期との比較では、完成工事額D Iは全国・東北で若干の悪化、宮城で悪化となった。

採算D Iの比較では、全国・宮城で悪化、東北で改善した。

その悪化度は宮城、全国の順であった。

本県回答事業所からは「民間需要が停滞」や、「請負単価の低下がなかなか下げ止まらない」などのコメントが寄せられた。

図2-6 全国東北宮城完成工事額・採算比較（前年同期比）



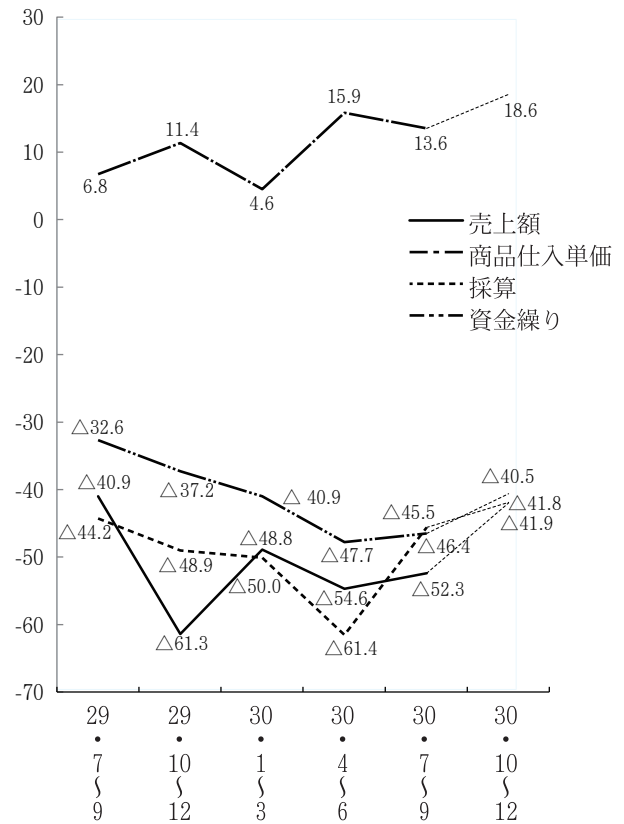
### (3) 小売業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上額D Iは今期△52.3（前期△54.6）と前期に比べ2.3ポイントの改善、採算D Iは今期△45.5（前期△61.4）で15.9ポイント改善、資金繰りD Iでも今期△46.4（前期△47.7）で1.3ポイント改善した。

商品仕入単価D Iは今期13.6（前期15.9）となり、△2.3ポイント下落した。

図3-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



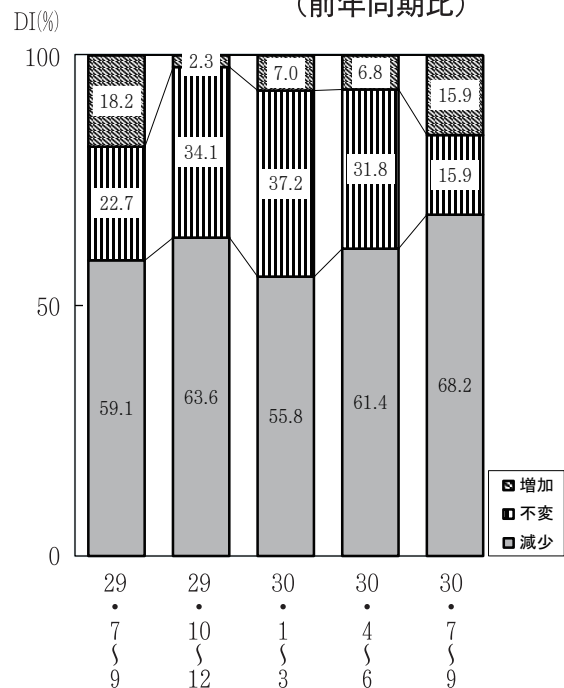
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の15.9%（前期6.8%）で9.1ポイント増加、「減少」の回答も、今期は全体の68.2%（前期61.4%）で6.8ポイント増加した。

その結果、売上額D Iは今期△52.3（前期△54.6）と2.3ポイント前期より改善した。

図3-2 売上額の状況  
(前年同期比)

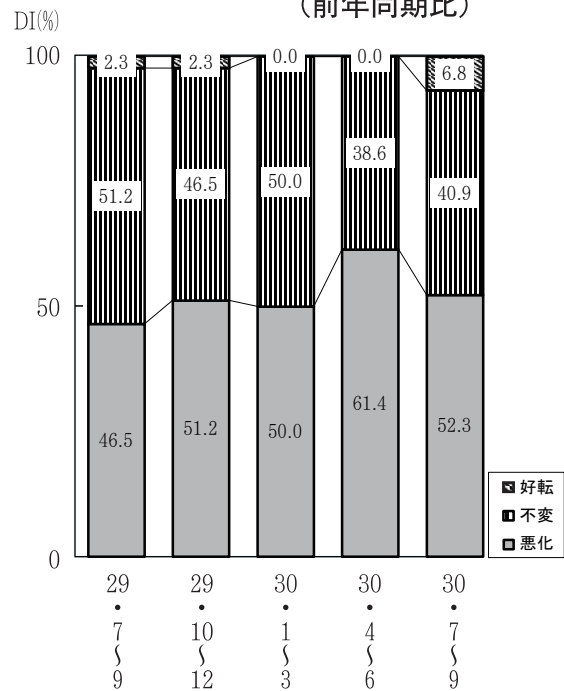


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の6.8%（前期0.0%）と6.8ポイント増加、「悪化」の回答は、今期は全体の52.3%（前期61.4%）で△9.1ポイント減少した。

その結果、採算DIは今期△45.5（前期△61.4）で、前期より15.9ポイント改善した。

図3-3 採算の状況  
(前年同期比)



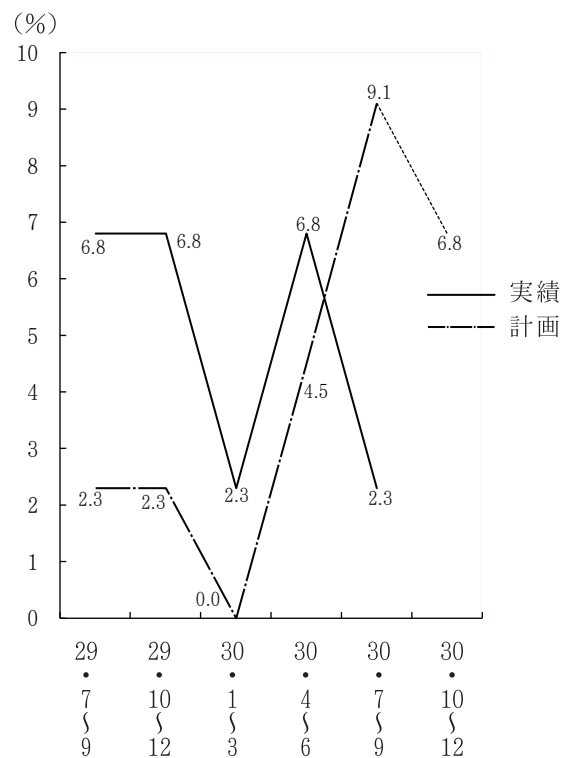
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の2.3%（前期6.8%）で、前期より△4.5ポイント減少した。

その設備内容は店舗であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の6.8%で、その設備内容は車両・運搬具となっている。

図3-4 設備投資の状況

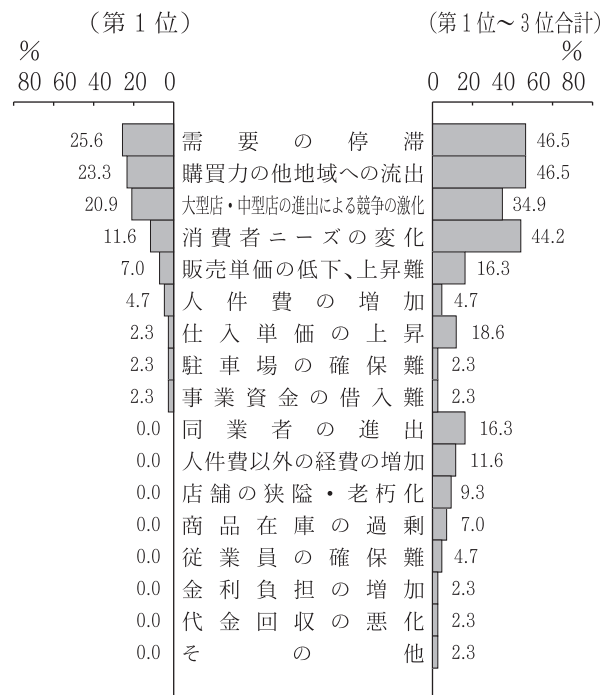


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は「需要の停滞」で25.6%、次いで「購買力の他地域への流出」が23.3%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が20.9%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「需要の停滞」と「購買力の他地域への流出」が同率46.5%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「消費者ニーズの変化」が44.2%で続いた。

図3-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では、売上DIは全国で若干の改善、東北・宮城で改善した。

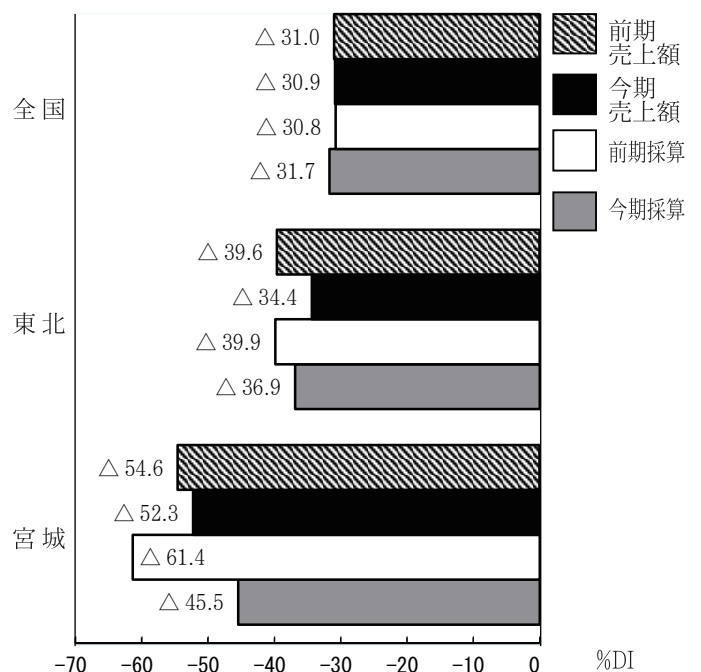
その改善度は東北・宮城の順であった。

採算DIでは全国で若干の悪化、東北・宮城で改善した。

その改善度は宮城・東北の順であった。

本県回答事業所から「高齢者向きの商品販売が好調」（電機製品販売）や「インパクトのある商品販売へ取り組む」（花・植木販売）などのコメントが寄せられた。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較（前年同期比）



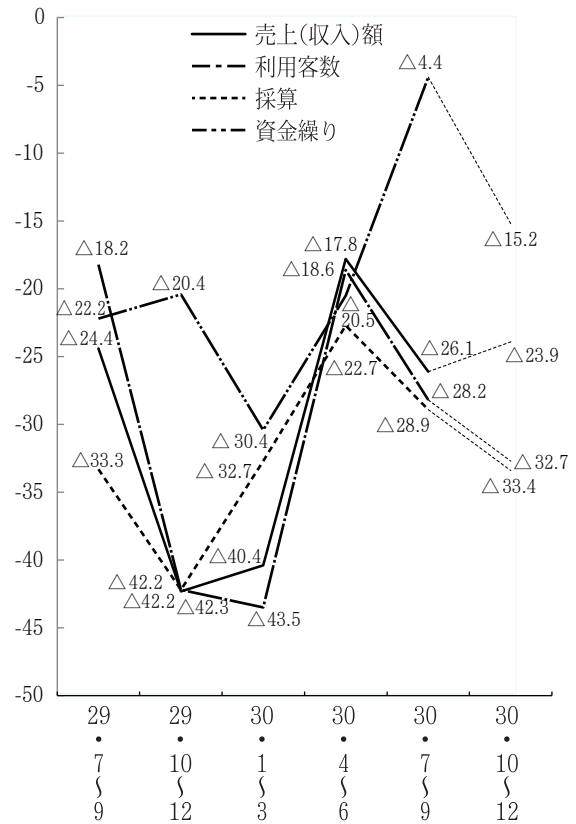
## (4) サービス業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上（収入）額D Iは今期△26.1（前期△17.8）で△8.3ポイント悪化、採算D Iも今期△28.9（前期△22.7）で△6.2ポイント悪化、資金繰りD Iは今期△4.4（前期△20.5）で16.1ポイント改善した。

利用客数D Iは今期△28.2（前期△18.6）で△9.6ポイント下落した。

図4-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



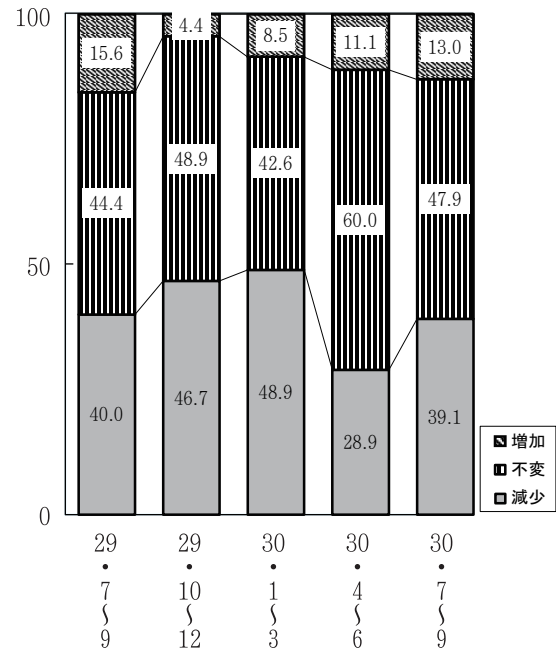
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 売上（収入）額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の13.0%（前期11.1%）で1.9ポイント増加、「減少」の回答は今期39.1%（前期28.9%）で10.2ポイント増加した。

その結果、売上（収入）額D Iは今期△26.1（前期△17.8）で前期より△8.3ポイント悪化した。

図4-2 売上（収入）額の状況  
(前年同期比)

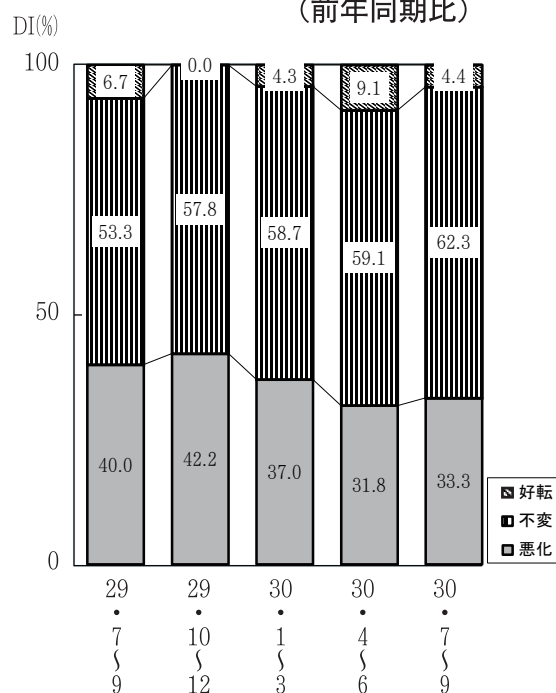


### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の4.4%（前期9.1%）で△4.7ポイント減少、「悪化」と回答した企業は今期33.3%（前期31.8%）と1.5ポイント増加した。

その結果、採算DIは今期△28.9（前期△22.7）で前期より△6.2ポイント悪化した。

図4-3 採算の状況  
(前年同期比)



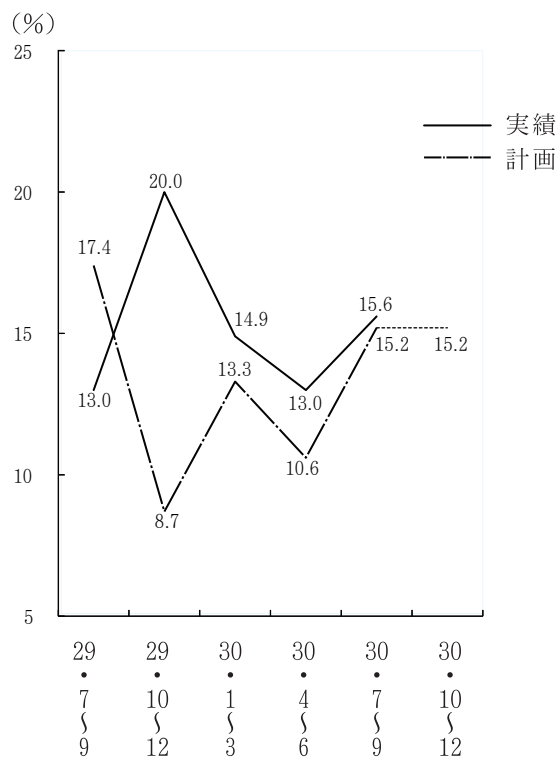
### (c) 設 備 投 資

今期新規投資を実施（実績）した企業は全体の15.6%（前期13.0%）で、前期より2.6ポイント増加した。

その設備内容は、土地、建物、サービス、車両・運搬具、付帯施設、OA機器であった。

来期に設備計画している企業割合は全体の15.2%であり、その設備内容は、土地、建物、サービス、車両・運搬具、その他となっている。

図4-4 設備投資の状況



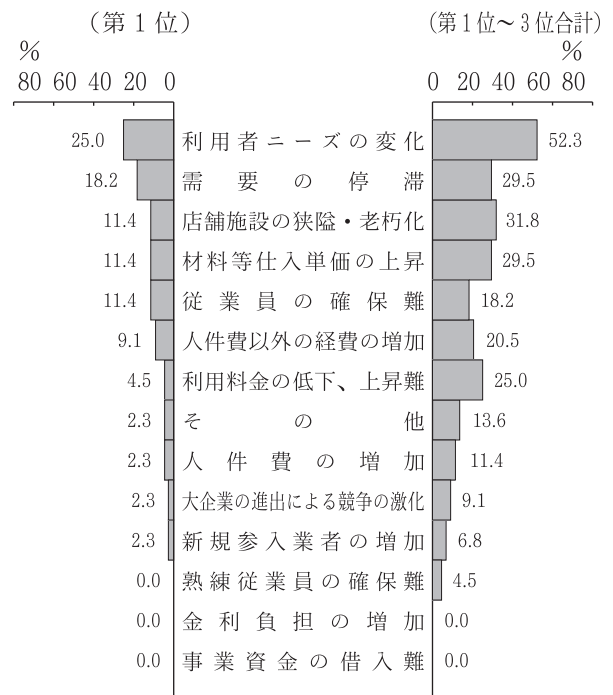


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は「利用者ニーズの変化」で25.0%、次いで「需要の停滞」が18.2%、「店舗施設の狭隘・老朽化」、「材料等仕入単価の上昇」、「従業員の確保難」が同率11.4%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも「利用者ニーズの変化」が52.3%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「店舗施設の狭隘・老朽化」が31.8%、「需要の停滞」と「材料等仕入単価の上昇」が同率29.5%で続いた。

図4-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

前期と今期の比較において、売上(収入)DIは全国、宮城で悪化、東北で改善した。

その悪化度は宮城、全国の順であった。

採算DIでは全国で若干の悪化、東北・宮城で悪化となった。

その悪化度は宮城、東北の順であった。

本県回答事業所からは「新規顧客獲得のため、利用者ニーズへの対応への具体策を模索する」(理容業)や「猛暑のため夏場は顧客が減少。9月以降に期待」(ランドリー業)などのコメントが寄せられた。

図4-6 全国東北宮城売上(収入)額・採算比較(前年同期比)

